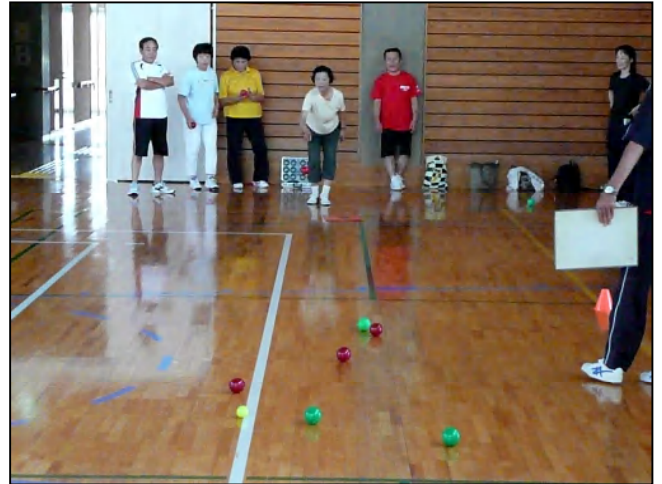


ペタンク

ペタンクは、1910年に南フランスの港町ラ・シオタで生まれたボールスポーツです。

プロヴァンサルという助走をつけて投球するゲームが、全員が同じ場所から投球するようになり、ピエタンケ（両足をそろえる）というフランス・プロヴァンス地方の方言から「ペタンク」になったといわれています。

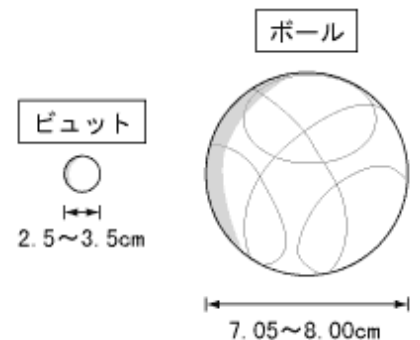
発祥国フランスでは、現在500万人以上がプレーを楽しんでいます。



ペタンクが親しまれる理由は、どこでもほんの少しのスペースで気軽にプレーできるところにあります。ゲームでは、たった1球で形勢を有利にしたり、大量得点をとったりするところに面白さがあり、思い通りの投球ができたり作戦が的中した時には、この上ない爽快感が味わえます。

【人数】

- ★トリプル（3人対3人）が基本。持ちボールは一人2個
- ダブルス（2人対2人）持ちボールは一人3個
- シングルス（1人対1人）持ちボールは一人3個



【コート】

4m×15mが基本。

日本ペタンク協会では、3m×12m以下にならなければ縮小を容認しています。

※レクリエーションとして楽しむなら、特にコートのサイズは気にしないでOK！

【ゲームの進め方】

- (1) じゃんけんで先行、後攻を決める。
- (2) 先攻チームから一人がスタート地点となるサークルを描き、その中から、ピュットを6~10m投げる。ピュットの位置が6~10m外の時は再度やり直し。
- (3) 続いて第1投目のボールをできるだけピュットの近くに止まるように投げる。
- (4) 次に後攻チームが、第1球目を投げる。
- (5) 両チームがそれぞれ1球ずつ投げた後で、どちらのボールがピュットに近いかを見る。この時、ピュットに近いほうがポイントを取っている。
- (6) ポイントのとれていないチームは自分のチームのボールがピュットに一番近くなるまで投げなければならない。
- (7) こうしてポイントを取っているチームは休み、ポイントのないチームがボールを投げる。
- (8) このようにポイントを取り合いながらゲームを続け、両チームとも投げ終わったときに1メーヌ（セット）が終了し、得点を数える。
- (9) 得点の数は、相手チームのどのボールよりもピュットに近い自分のチームのボールがあるとき、その近いボールの数の分だけ得点になる。
- (10) 勝ったチームはピュットのある位置にサークルを描き、第2メーヌ（セット）を開始する。
- (11) 何回かメーヌ（セット）を繰り返し、13点を先取したチームが勝ちとなる。